

ILS卒業生の留学体験談-MAHOさん



世界で輝く

バレリーナになる!

MAHOさんは、若手バレリーナの登竜門と称されるローザンヌ国際バレエコンクールに出場し、アントワープ王立バレエ学校への留学を勝ち取りました。卒業後の現在は、ベルギーのジュニアカンパニーに所属し、更なる高みを目指して日々励んでおられます。



MAHOさんにインタビュー

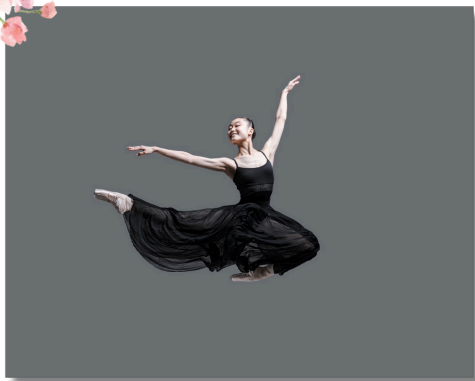
学校の授業内容や生活はどのようなものでしたか？

学校時代は週に2回、英語とオランダ語の授業を受けていました。お昼から夕方まではバレエのクラスや、コンテンポラリー、公演に向けてのリハーサルなどがありました。2024年6月に卒業し、現在はジュニアカンパニーに在籍しているので、朝から夕方までバレエのクラスやコンテンポラリー、リハーサルなどがあります。



留學生活の中で、一番印象に残っている出来事や嬉しかったことはありますか？

最後の卒業公演でドン・キホーテの1幕を全校の皆さんでやった際に主役のキトリを演じさせていただいたことです。来年5月にはシンデレラ全幕をやることになり主役のシンデレラを演じさせていただけることになりました。それもとても有難いことです。



留學生活で大変だったことはありますか？

慣れるまでは英語が大変でした。日本にいる時から英語は勉強していましたが、留學先でみんなの英語の会話についていくことが初めは難しかったです。しかし、みんなとてもフレンドリーに接してくれるため今はだいぶ慣れてきました。



留学を通じてご自身にどのような変化がありましたか？

まずは、なんでも1人でできるようになりました。ベルギーから色々な国にオーディションに行かなければいけなかったので、初めは不安でしたが今は1人で電車を乗り継いだり飛行機のチケットをとって飛行機で移動したりできるようになりました。今までは親に頼ってばかりでしたが、海外では自分しか頼れる人がいないので、そこは成長したと思います。

また、日本に来る外国人が増えてきた今、私が日本に帰国している際に、道を聞かれたり話しかけられてもなんの心配もなく話せるようになりました。



留学中に手に入れた、今でも大事にしているものを教えてください。

日本でバレエをしている時より表現力や技術が伸びたと思います。また、大切なお友達も出来ました。休日にお友達と美術館に行ってみたり、クリスマスマーケットに行ったりしたことは良い思い出です。

アントワープは「芸術の街」として知られており、歴史ある建築物や美術館、現代アートが街中に点在しています。日本にいる時より芸術に触れる機会が多くなったと思います。

留学前に準備しておいたほうが良いことはありますか？

英語は日本にいる時から勉強しておく方が良いと思います。留学中、先生やみんなとコミュニケーションを取ることが1番大切なことだと思います。持っていくものに関しては、私は一人暮らしをしていたので、日本の調味料が重宝しました。海外で購入すると高いので、調味料は日本からできるだけ持っていくことをお勧めします。



ILSのサポート内容について良かったと思ったことはありますか？

ベルギーに留学が決まった時から学生ビザの取得や航空チケットの手配など本当にお世話になりました。いつも快く助けていただけて、学生ビザの取得が難しいと言われるベルギーですが無事に学生ビザを取得することもできました。

これから海外の高校留学を目指す方へ一言アドバイスを！

初めは慣れないことも多いと思いますが、諦めずに頑張ってください！



ILSでは生徒様ひとりひとりの目標に沿ったご留学プランをご提案いたします。
まずはお気軽にご相談ください。

有限会社 井上直美留学研究所

岡山県知事登録旅行業第3-317号 (一社) 全国旅行業協会正会員 総合旅行取扱管理者 井上直美

0120-034-203

メール: ryuugaku@ils.jp

HP: www.ils.jp

〒700-0011 岡山県岡山市北区学南町1-9-25 (受付時間:月~金 10:00~17:00)

Instagram
留学情報配信中



ILS.OKAYAMA